

## 田原市堀切小学校の体験活動（栽培活動）

本校では平成13年度から「作って 食べて 育てよう心と体」を研究テーマに、人とのふれ合いを充実させた「交流給食」や「食の体験活動」を中心とした実践を行っています。健康を考えた食生活のできる子になってほしいという思いから「楽しく食べる、おいしく食べる」、また、「野菜の大切さを理解し、積極的に野菜を食べる子」を目指し、栽培活動を主体とした体験活動を行っています。「みんなの畑」という名前の学校農園で夏野菜と冬野菜、じゃがいも、さつまいもを栽培し、全学年年間を通して栽培活動を行っています。1・2年生は自分が育てたい野菜、3～6年生はグループまたはクラスで育てたい野菜です。じゃがいも、さつまいもは縦割り班で育てています。収穫した野菜は調理実習や給食で使ったり、家に持ち帰って食べています。

### 植えつけ



「野菜の先生、ありがとうございました。」  
家の人に協力してもらっての植え付け(1・2年生)



### 世話



「なすやトマトの苗を竹にしばっています。」  
(1年生と6年生)

「草取りは大変です。」  
(1年生)

## 観察



「こんなに大きくなりました。」  
(キャベツの観察 1年生)



「早く食べたいな。」  
(5年生のスイカ畑)

## 収穫



「こんなに大きな大根がとれたよ。」(3年生と1年生)



## 調理実習



「大根の抜き菜でおひたし作り」  
(2年生)



「キャベツを使ってお好み焼きを作ったよ」  
(1年生)



「保健委員会・給食委員会の人々が、みんなの畑の野菜を使って豚汁を作ってくれました。おいしかったです。」  
(12月26日 スペシャルなかよしデー)



「収穫したさつまいもで焼きいもをしました。」  
(縦割り班で)

## 食育フォーラム



「野菜の栽培や栄養など一年間学習してきた成果を地域や家の人に発表します。毎年たくさんの人たちが参加してくれます。」

栽培活動を行う前は本校の児童も野菜嫌いの子どもが多く、給食でも野菜の残菜がありました。しかし、自分たちで育てた野菜には特別な愛着があるようで、今は、ほとんど残菜はありません。今後も続けたいと思います。